

戦災復興に向けて

内田祥三は、東京帝国大学大学院生の時代に関わった「東京市建築條例学会案」を始め、旧「都市計画法」「市街地建築物法」(後に「建築基準法」に引き継がれる)など、東京の建築と都市に関する法律の立案に関わりました。また、美観審査委員会委員、東京都建築審査委員会委員などを歴任しました。

特に、都市計画東京地方委員会には、昭和11年(1936)に委員となり、第二次世界大戦後、昭和22年には特別委員に指名され委員長として東京の戦災復興都市計画に関わります。

この資料は、戦災復興土地区画整理事業により計画された新宿駅周辺広場の図面です。内田祥三関係資料には、こうした都市計画等に関わる資料が、彼自身の手により綴られ、保存されています。

